

湖月抄

抄

四

内閣文庫			
架	冊	號	類
三	一	〇	和
函	六	四	書
一	四	五	
一	八		

和			
冊架	函號	類	
六〇	二六	四	
一	二	四	
八	五		
内閣文庫			
番號	和	8544	
冊數	60 (51)		
函號	203	31	



みかりゆきく 細八美の母
八美の女もまはしりけ
とつりさうととり
いであらうとつり

盆向も寝衣物ハ鳴よめて
はまかの地はうりこ

細八美の母の所

何種樂寮物師也職貞

今云推赤察頭一人乃

至秋仲四八律仲四八笛

師二人唐國樂師十二人

高麗系師四人百濟系

師四人新羅系師四人

鼓系師一人腰鼓師二人

以下略之

係氏の申す所の 細八美の母

とつりゆきり花もゆり

くまごまごゆりくまごまご

よゆりく八美の系高と書

あつりゆりゆりゆりゆり

をよんりゆりゆりゆり

くまごまごゆりくまごまご

あつりゆりゆりゆりゆり

をよんりゆりゆりゆり

くまごまごゆりくまごまご

あつりゆりゆりゆりゆり

をよんりゆりゆりゆり

くまごまごゆりくまごまご

あつりゆりゆりゆりゆり

をよんりゆりゆりゆり

くまごまごゆりくまごまご

みかりゆきく 細八美の母
八美の女もまはしりけ
とつりさうととり
いであらうとつり

盆向も寝衣物ハ鳴よめて
はまかの地はうりこ

細八美の母の所

何種樂寮物師也職貞

今云推赤察頭一人乃

至秋仲四八律仲四八笛

師二人唐國樂師十二人

高麗系師四人百濟系

師四人新羅系師四人

鼓系師一人腰鼓師二人

以下略之

係氏の申す所の 細八美の母

とつりゆきり花もゆり

くまごまごゆりくまごまご

よゆりく八美の系高と書

あつりゆりゆりゆりゆり

をよんりゆりゆりゆり

くまごまごゆりくまごまご

あつりゆりゆりゆりゆり

をよんりゆりゆりゆり

くまごまごゆりくまごまご

あつりゆりゆりゆりゆり

をよんりゆりゆりゆり

くまごまごゆりくまごまご

あつりゆりゆりゆりゆり

をよんりゆりゆりゆり

くまごまごゆりくまごまご

あつたや
まうさんいりのみかじま
らぬ 葉とらうく
くわいららららら
とせんとうらたんの
初らう
とらららららららら
いゆららら 葉とらう
とらら中のまららら
ありららららららら
孟君ゆ一人まららら
葉のあらららららら
先人のゆら

あつたや
まうさんいりのみかじま
らぬ 葉とらうく
くわいららららら
とせんとうらたんの
初らう
とらららららららら
いゆららら 葉とらう
とらら中のまららら
ありららららららら
孟君ゆ一人まららら
葉のあらららららら
先人のゆら

あつたや
まうさんいりのみかじま
らぬ 葉とらうく
くわいららららら
とせんとうらたんの
初らう
とらららららららら
いゆららら 葉とらう
とらら中のまららら
ありららららららら
孟君ゆ一人まららら
葉のあらららららら
先人のゆら

あつたや
まうさんいりのみかじま
らぬ 葉とらうく
くわいららららら
とせんとうらたんの
初らう
とらららららららら
いゆららら 葉とらう
とらら中のまららら
ありららららららら
孟君ゆ一人まららら
葉のあらららららら
先人のゆら

あつたや
まうさんいりのみかじま
らぬ 葉とらうく
くわいららららら
とせんとうらたんの
初らう
とらららららららら
いゆららら 葉とらう
とらら中のまららら
ありららららららら
孟君ゆ一人まららら
葉のあらららららら
先人のゆら

らんあまののちのよき

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

しらあまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

あまのついでにやうよ

わりの人さうしり
これといともいぬ

河野 和名水更 花内勝

司式之山城国近江国水

更 細代各二處其更始九

月 近十二月廿日供之

今業近江の田上のわら

よりれりりりりりりり

の字活りりりりりりり

いれりりりりりりりり

細代各二處のわらりりり

りりりりりりりりりり

このむの巻は位てあ

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

ていりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

りりりりりりりりりり

細葉の如く所々々々
とくたれども終はるるを
終るる

ゆりれたる身は川に
く 細くもあつちまは
川に流るるあつちまは
しり

いづれよりいづれ
細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは

細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは

細くもあつちまは

わのありし月影の又
とくたれども終はるるを
終るる

ゆりれたる身は川に
く 細くもあつちまは
川に流るるあつちまは
しり

いづれよりいづれ
細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは

細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは

終

とくたれども終はるるを
終るる

ゆりれたる身は川に
く 細くもあつちまは
川に流るるあつちまは
しり

いづれよりいづれ
細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは

細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは

わのありし月影の又
とくたれども終はるるを
終るる

ゆりれたる身は川に
く 細くもあつちまは
川に流るるあつちまは
しり

いづれよりいづれ
細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは

細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは
く 細くもあつちまは

終

くまのこゝのたれをいへん
やしろくまー
孟ねん入夜果てうらやま
のまよふ身よの重向う
うらやまのつれづれのたれ
あゝ人さるらん 孟ねん
ゆゑは二人の感あつたる
てい

うらやまのこゝのたれをいへん
やしろくまー
孟ねん入夜果てうらやま
のまよふ身よの重向う
うらやまのつれづれのたれ
あゝ人さるらん 孟ねん
ゆゑは二人の感あつたる
てい

うらやまのこゝのたれをいへん
やしろくまー
孟ねん入夜果てうらやま
のまよふ身よの重向う
うらやまのつれづれのたれ
あゝ人さるらん 孟ねん
ゆゑは二人の感あつたる
てい

うらやまのこゝのたれをいへん
やしろくまー
孟ねん入夜果てうらやま
のまよふ身よの重向う
うらやまのつれづれのたれ
あゝ人さるらん 孟ねん
ゆゑは二人の感あつたる
てい

うらやまのこゝのたれをいへん
やしろくまー
孟ねん入夜果てうらやま
のまよふ身よの重向う
うらやまのつれづれのたれ
あゝ人さるらん 孟ねん
ゆゑは二人の感あつたる
てい

松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり

とかりひよきりつる代は松の世よかりきり
かりと人の中もよきりつる代は松の世よかりきり
とどきりつる代は松の世よかりきり
ゆらん人の中もよきりつる代は松の世よかりきり
とどきりつる代は松の世よかりきり
ゆらん人の中もよきりつる代は松の世よかりきり
とどきりつる代は松の世よかりきり
ゆらん人の中もよきりつる代は松の世よかりきり
とどきりつる代は松の世よかりきり
ゆらん人の中もよきりつる代は松の世よかりきり

松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり

松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり

松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり
松の世よかりきり

陸路よりくの時とく
やがて別れあり

細 西海よりりしこと私の
想とく 仰は奔ぐぬの地
とハ小舟たが別のとと
そよよわくはひ文をな
侍人なまの想とくは
つとて

細 みの文とほ葉のとり
てととととと 仰りあり
いらよととととととと
かくとととととととと
とととととととと

もよとととととととと
まみ 仰りありとととと
くーとととととととと
うらのれりのととととと
たしん

物忌の程ハ入停止られ
ともわととととととと
もよとととととととと
陸の女一と 仰りあり
の女一と 仰りあり
仕人女

くあんととととととと
細 八とととととととと
八とととととととと
の感えよ山の族もと
ひらららとととと

はゆみのか
細 物忌の判形ありあり
益 物忌の判形ありあり

らんつとととととととと
ちひまるととととととと
とととととととととと
ひまるとととととととと
くいとととととととと
やがとととととととと
くくくくくくくくくく
しとととととととととと
だれとととととととと
のひとととととととと
うやとととととととと

ちひまるととととととと
とととととととととと
ひまるとととととととと
くいとととととととと
やがとととととととと
くくくくくくくくくく
しとととととととととと
だれとととととととと
のひとととととととと
うやとととととととと

くくくくくくくくくく
しとととととととととと
だれとととととととと
のひとととととととと
うやとととととととと

のひとととととととと
うやとととととととと

うやとととととととと

これとととととととと

のひとととととととと
うやとととととととと

うやとととととととと

うやとととととととと

うやとととととととと

